

報道関係者各位

令和7年2月3日

令和6年度 第3回企画展「舞鶴引揚記念館 新収蔵品展」について

舞鶴引揚記念館は、令和7年2月3日（月）から令和5年度に寄贈等によって新たに収蔵した資料を紹介する「舞鶴引揚記念館 新収蔵品展」を開催しますのでお知らせいたします。

なお、1月16日から開催している「ユネスコ世界記憶遺産登録 10周年記念 回想記録画展 羽根田光雄の抑留体験記録」は、同時開催として令和7年4月20日（日）まで展示を継続いたします。

1. 展示期間

令和7年2月3日（月）～ 令和7年4月20日（日）

2. 場 所

舞鶴引揚記念館 企画展示室（展示室は無料、別途入場料が必要）

3. 展示概要

令和5年度に受け入れた新収蔵資料を紹介するとともに、当館の資料収集についてのご理解とご協力をお願いするものです。

4. 展示資料

- ・満洲の陸軍病院での写真、引揚船等の写真など
- ・俘虜用郵便葉書など
- ・引揚証明書や予防接種証明書など
- ・自身の抑留体験を記した書籍やノートなど

総展示数 89 点



舞鶴湾内の定期船に乗って引揚船を出迎える市民

寄贈者本人が舞鶴（地方）引揚援護局に勤めていた昭和30（1955）年前後に撮影した引揚船などの写真 13 点のひとつ。

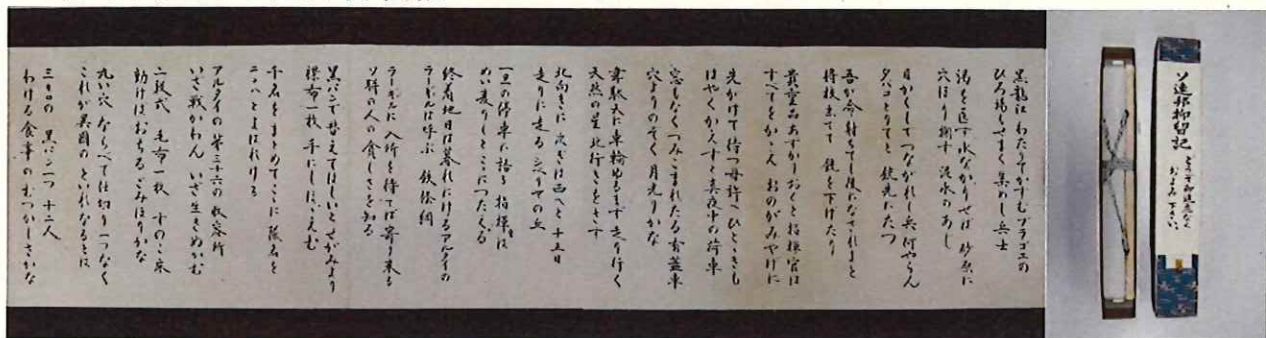
寄贈 竹中 道雄氏（京都府）



SDGs 未来都市

舞鶴引揚記念館（担当：嵯峨根・萩田）〒625-0133 舞鶴市字平 1584
TEL:0773-68-0836、FAX: 0773-68-0370 E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp

村松榮次氏のソ連邦抑留記



サイズ：縦 45.5 cm×幅 441.7 cm (本紙 32.7 cm×404.7 cm)

寄贈者の祖父：村松榮次氏が 60 才の頃に抑留中の出来事を和歌にして地元の公民館で展示するため巻子に仕立てたもの。

この資料は寄贈者の父：村松昇氏に託されたものでもあり、遺品を無駄にしたくないとの思いから寄贈。

寄贈 島田 幸氏 (千葉県)



慰問袋

岡山県出身の引揚者やその家族が舞鶴で一時滞在するための施設で使用された紙製の慰問袋。この中にはタオルや石鹸、箱入り団子や芋などを入れ、岡山へ帰る者に配った。寄贈者の齊藤氏が住んでいた家の隣がこの施設で「袋の絵がかわいい」と思い偶然残っていたという。

寄贈 齊藤 米子氏 (京都府)

引き揚げやシベリア抑留に関する書籍



シベリア抑留の体験を本人や家族がまとめた書籍等 19 点。この中には当館が画像資料を出版社等へ提供して出来上がった成果物も含まれている。



SDGs 未来都市

舞鶴引揚げ記念館 (担当：嵯峨根・萩田) 〒625-0133 舞鶴市字平 1584
TEL: 0773-68-0836、FAX: 0773-68-0370 E-mail: hikiage@city.maizuru.lg.jp